

# ○高知市文化プラザ条例

(平成12年10月1日条例第61号)

改正	平成16年4月1日条例第36号	平成17年10月15日条例第123号
	平成18年10月1日条例第58号	平成19年4月1日条例第24号
	平成20年10月1日条例第124号	平成21年4月1日条例第54号
	平成23年3月29日条例第4号	平成26年1月1日条例第20号
	平成31年4月1日条例第9号	

## 目次

- 第1章 総則(第1条―第4条の7)
- 第2章 文化ホール、市民ギャラリー及びガレリア等(第5条―第14条)
- 第3章 横山隆一記念まんが館(第15条―第20条)
- 第4章 雑則(第21条)
- 附則

## 第1章 総則

### (設置)

第1条 市民文化の継承と豊かで個性ある文化の創造を目指し、市民による文化・芸術活動及び生涯にわたる学習活動の展開並びに市民文化の振興に資するため、高知市文化プラザ(以下「文化プラザ」という。)を設置する。

### (位置)

第2条 文化プラザの位置は、次のとおりとする。

高知市九反田2番1号

### (施設)

第3条 文化プラザに次の施設を置く。

- (1) 文化ホール
- (2) 市民ギャラリー
- (3) 横山隆一記念まんが館
- (4) 中央公民館(高知市立公民館条例(昭和43年条例第37号)に基づく高知市立中央公民館をいう。)
- (5) ガレリアその他の施設

第4条 前条第4号に規定する施設の管理について必要な事項は、この条例に定めるもののほか、高知市立公民館条例の定めるところによる。

### (文化プラザの管理等)

第4条の2 市長は、文化プラザ(第3条第4号の施設を除く。以下この章において同じ。)の管理を、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定に基づき市長が指定する者(以下「指定管理者」という。)に行わせることができる。

2 前項の規定に基づき指定管理者に文化プラザの管理を行わせる場合における当該指定管理者の指定の手續等については、高知市公の施設に係る指定管理者の指定手續等に関する条例(平成17年条例第69号)の定めるところによる。

### (指定管理者が行う業務)

第4条の3 前条第1項の規定に基づき指定管理者が管理を行う場合において、指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 文化プラザの施設又は設備の使用の許可に関する業務
- (2) 文化プラザの維持管理に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、第1条の設置目的を達成するために市長が必要と認める業務

(指定管理者の権限)

第4条の4 指定管理者は、第4条の2第1項の規定に基づく指定が効力を有する間、第5条から第8条まで及び第12条に規定する市長の権限を行うものとする。ただし、地方自治法第244条の2第11項の規定により、管理の業務の全部又は一部の停止を命ぜられた期間における当該停止を命ぜられた業務に係るものを除く。

(開館時間等)

第4条の5 文化プラザの次の各号に掲げる施設の開館時間は、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 第3条第1号に規定する施設 午前9時から午後10時まで

(2) 第3条第2号及び第5号に規定する施設(次項に規定する施設を除く。) 午前9時から午後7時まで

(3) 第3条第3号に規定する施設 午前9時から午後6時まで

2 別表第3第2号に規定する施設の有料供用時間は、午前零時から午後12時まで(12月27日及び1月5日にあっては、規則で定める時間)とし、当該施設に入出場できる時間は、規則で定める。

3 市長は、管理上及び公益上必要があると認めるときは、前2項に規定する時間を変更することができる。

(休館日)

第4条の6 文化プラザの休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日。ただし、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たる場合を除く。

(2) 12月28日から翌年の1月4日までの日

2 前項の規定にかかわらず、前条第2項に規定する施設の休館日は、12月28日から翌年の1月4日までの日とする。

3 前2項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、臨時に休館し、又は臨時に開館することができる。

(利用料金の収入等)

第4条の7 市長は、第4条の2第1項の規定に基づき文化プラザの管理を指定管理者に行わせる場合において適当と認めるときは、指定管理者に文化プラザの利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を当該指定管理者の収入として収受させることができる。

2 前項の規定に基づき利用料金を指定管理者の収入として収受させる場合にあつては、第9条の規定にかかわらず、使用者は、利用料金を当該指定管理者に納付しなければならない。

3 利用料金は、別表第1から別表第3までに掲げる額(附属設備にあつては、第9条第3項に規定する規則で定める額)の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。

4 利用料金の減免及び還付については、第10条及び第11条の規定を準用する。この場合において、これらの規定中「市長」とあるのは「指定管理者」と、「使用料」とあるのは「利用料金」と、第11条第1号中「市」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

第2章 文化ホール、市民ギャラリー及びガレリア等

(使用の許可)

第5条 文化プラザ(第3条第3号及び第4号の施設を除く。以下この章において同

じ。)を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。当該許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 市長は、文化プラザの管理上必要と認めるときは、前項の許可に条件を付することができる。

(使用の制限)

第6条 市長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、文化プラザの使用を制限し、又は使用を許可しないことができる。

(1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。

(2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の活動に利用されると認めるとき。

(3) 施設又は附属設備を損傷するおそれがあると認められるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長が不適當と認めるとき。

(権利の譲渡等の禁止)

第7条 第5条第1項の規定により使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、当該許可に伴う権利を譲渡し、又は転貸してはならない。ただし、市長の承認を得た場合は、この限りでない。

(許可の取消し等)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、文化プラザの使用の許可を取り消し、使用を停止させ、又は許可条件を変更することができる。

(1) 使用者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 第6条各号のいずれかに該当したとき。

(3) 使用者が許可条件に違反したとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長が必要と認めるとき。

2 前項の場合において、使用者に損害が生じて、市は、賠償責任を負わない。ただし、同項第4号の規定に基づき同項の処分をした場合であって、当該処分が市の都合によるときは、この限りでない。

(使用料)

第9条 使用者は、別表第1から別表第3までに定める額によって算定した料金を使用料として納付しなければならない。

2 前項に規定する使用料は、市長が指定する日までに前納しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めるときは、当該使用料を後納とすることができる。

3 附属設備の使用料は、規則で定める。

(使用料の減免)

第10条 市長は、規則で定める特別の事由があるときは、使用料を減額し、又は免除することができる。

(使用料の不還付)

第11条 納付された使用料は、還付しないものとする。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、その全部又は一部を還付することができる。

(1) 市の都合によって使用の許可を取り消したとき。

(2) 天災その他不可抗力によって使用することができなくなったとき。

(3) 使用開始前において規則で定める日までに使用の許可の取消し又は変更を申し出て、市長が正当な事由があると認めたとき。

(設備の制限)

第12条 使用者は、文化プラザの使用に当たって特別の設備をし、又は文化プラザの設備に変更を加えてはならない。ただし、市長の許可を受けたときは、この限りでない。

2 前項の特別の設備等に要する費用については、当該許可を受けた使用者の負担とする。

(原状回復)

第13条 使用者は、その使用が終わったとき、又は使用の許可を取り消されたときは、直ちに施設及び附属設備を原状に回復しなければならない。

(損害の賠償等)

第14条 使用者その他文化プラザを利用した者が、施設若しくは附属設備を損傷し、又は滅失したときは、市長の指示に基づいてこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

2 市長は、やむを得ない事由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

### 第3章 横山隆一記念まんが館

(まんが館の目的)

第15条 横山隆一記念まんが館(以下「まんが館」という。)は、横山隆一氏及びまんがに関する資料(以下「資料」という。)を収集し、保管し、及び展示し、並びに閲覧に供することにより、横山隆一氏の業績を顕彰するとともに、郷土の誇るまんが文化を継承し、もって市民文化の振興に寄与することを目的とする。

(事業)

第16条 まんが館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集、保管及び展示を行うこと。
- (2) 資料の利用及び閲覧等を行うこと。
- (3) 資料に関する調査研究等を行うこと。
- (4) 資料に関する解説書及び目録等の作成並びに頒布を行うこと。
- (5) 学校、図書館、公民館その他の教育、学術又は文化に関する諸施設及び地域団体と協力し、その活動を支援すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な事業

(観覧料)

第17条 まんが館の常設展並びに特別展及び企画展を観覧しようとする者は、別表第4に定める観覧料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、旅行業法(昭和27年法律第239号)第3条の登録を受けている者又は規則で定める者(以下「旅行業者等」という。)の取扱いによる観覧については、旅行業者等は、当該観覧に係る観覧料として、別表第4に定める観覧料(団体の場合にあつては、その合計額)の9割に相当する金額を納付しなければならない。

3 納付された観覧料は、還付しないものとする。ただし、市長が特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

4 市長は、必要があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

(入館の制限及び退館)

第18条 市長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、まんが館への入館を禁止

し、又はまんが館から退館させることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、又はまんが館の資料、施設若しくは附属設備を汚損し、若しくは破損するおそれがあるとき。
- (2) まんが館の管理上必要な指示に従わないとき。
- (3) その他入館させることが適当でないと認められるとき。

(資料等の撮影等の承認)

第19条 学術研究等のためまんが館の資料等の撮影、複写、模写又は模造等をしようとする者は、市長の承認を得なければならない。

2 前項の場合において、まんが館の資料等は、市長が特に必要と認めた場合のほか、まんが館以外の場所で利用することができない。

(資料等の損害の賠償等)

第20条 第14条の規定は、まんが館の資料、施設又は附属設備について準用する。この場合において、同条第1項中「使用者その他文化プラザを利用した者」とあるのは「まんが館に入館した者」と、「施設若しくは附属設備を損傷し、又は滅失した」とあるのは「まんが館の資料、施設若しくは附属設備を損傷し、又は滅失し、若しくは亡失した」と読み替えるものとする。

#### 第4章 雑則

(委任)

第21条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

#### 附 則

この条例は、別に規則で定める日から施行する。ただし、第5条から第11条まで、第21条(第3条第4号の施設に係る部分を除く。)及び第22条の規定は、公布の日から施行する。

附 則(平成16年4月1日条例第36号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成17年10月15日条例第123号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前の高知市文化プラザ条例第21条第1項の規定に基づき委託している高知市文化プラザの管理については、平成18年3月31日までの間は、なお従前の例による。

附 則(平成18年10月1日条例第58号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成19年4月1日条例第24号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、平成19年5月1日から施行する。

(経過措置)

2 第2条の規定による改正後の高知市文化プラザ条例別表第4の規定は、平成19年5月1日以後に観覧するものに係る観覧料から適用し、同日前に観覧するものに係

る観覧料については、なお従前の例による。

附 則(平成20年10月1日条例第124号)  
この条例は、平成21年4月1日から施行する。

附 則(平成21年4月1日条例第54号)  
(施行期日)

- 1 この条例は、平成21年7月1日から施行する。  
(経過措置)
- 2 この条例による改正後の高知市文化プラザ条例別表第1から別表第3までの規定は、この条例の施行の日以後に使用の許可を受けたものに係る使用料から適用し、同日前に使用の許可を受けたものに係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成23年3月29日条例第4号)  
(施行期日)

- 1 この条例は、平成23年4月1日から施行する。  
(経過措置)
- 2 この条例の施行の日前にこの条例による改正前の条例の規定に基づき使用、利用、行為又は入居の許可又は承認を受けたものについては、なお従前の例による。

附 則(平成26年1月1日条例第20号)  
(施行期日)

- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。  
(経過措置)
- 2 この条例による改正後の高知市文化プラザ条例別表第1、別表第2及び別表第4の規定は、平成26年4月1日以後に使用の許可を受けたものに係る使用料から適用し、同日前に使用の許可を受けたものに係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成31年4月1日条例第9号)抄  
(施行期日)

- 1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。  
(公の施設に係る使用料の経過措置)
- 2 第1条から第15条まで及び第17条から第40条までの規定による改正後の条例の規定に基づく使用料については、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に使用又は利用の許可を受けたものに係る使用料から適用し、施行日前に使用又は利用の許可を受けたものに係る使用料については、なお従前の例による。

別表第1 文化ホール使用料  
基本使用料

区分	時間	午前	午後	夜間	全日
		午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで

大ホール	平日	入場料を徴収しない場合		円 37,350	円 49,810	円 67,230	円 154,390
		入場料を徴収する場合	500円以下	46,700	62,280	84,060	193,040
			1,000円以下	58,380	77,830	105,070	241,280
			2,000円以下	70,040	93,390	126,110	289,540
			3,000円以下	80,550	107,410	145,020	332,980
			4,000円以下	92,650	123,540	166,770	382,960
			5,000円以下	101,940	135,920	183,480	421,340
			5,000円を超える場合	112,140	149,530	201,870	463,540
	日・土・休日	入場料を徴収しない場合		44,810	59,750	80,660	185,220
		入場料を徴収する場合	500円以下	56,050	74,730	100,860	231,640
			1,000円以下	70,040	93,390	126,060	289,490
			2,000円以下	84,060	112,090	151,350	347,500
			3,000円以下	96,660	128,890	174,020	399,570
			4,000円以下	111,190	148,250	200,140	459,580
			5,000円以下	122,320	163,100	220,170	505,590
			5,000円を超える場合	134,590	179,460	242,230	556,280

小ホール	平日	入場料を徴収しない場合		6,880	9,170	12,380	28,430
		入場料を徴収する場合	500円以下	8,600	11,470	15,490	35,560
			1,000円以下	10,750	14,340	19,360	44,450
			2,000円以下	12,900	17,210	23,240	53,350
			3,000円以下	14,850	19,800	26,720	61,370
			4,000円以下	17,080	22,770	30,730	70,580
			5,000円以下	18,790	25,050	33,810	77,650
			5,000円を超える場合	20,660	27,560	37,200	85,420
	日・土・休日	入場料を徴収しない場合		8,260	11,010	14,870	34,140
		入場料を徴収する場合	500円以下	10,320	13,770	18,580	42,670
			1,000円以下	12,900	17,210	23,230	53,340
			2,000円以下	15,490	20,650	27,890	64,030
			3,000円以下	17,810	23,750	32,070	73,630
			4,000円以下	20,490	27,320	36,890	84,700
			5,000円以下	22,550	30,060	40,570	93,180
			5,000円を超える場合	24,810	33,080	44,650	102,540

リハーサル室				3,200	4,270	5,780	13,250
第1楽屋				2,780	3,700	5,010	11,490
第2楽屋				1,610	2,150	2,930	6,690
第3楽屋				1,610	2,150	2,930	6,690
第4楽屋				1,680	2,240	3,020	6,940
第5楽屋				1,680	2,240	3,020	6,940
第6楽屋				1,080	1,440	1,960	4,480
第7楽屋				830	1,110	1,500	3,440
第8楽屋				1,730	2,300	3,120	7,150

録音室	610	810	1,110	2,530
第1スタジオ	530	720	980	2,230
第2スタジオ	1,190	1,580	2,140	4,910

#### 備考

- 1 この表において、「日・土・休日」とは日曜日及び土曜日並びに国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日をいい、「平日」とは日・土・休日以外の日をいう。
- 2 使用者が入場料又はこれに類するものを徴収する場合は、この表に規定する使用区分に応じた基本使用料を適用する。この場合において、使用者が入場料に段階を設けているときは、当該入場料の最高額をもってこの表を適用する。
- 3 使用料の算定の対象となる使用時間には、使用のための準備及び後片付けに要する時間を含むものとする。
- 4 午前から午後へ、又は午後から夜間へ引き続き使用する場合は、それぞれの使用料を合計した額とする。
- 5 使用者が営利(使用者が商行為のため特定又は不特定多数の者を対象に、営業の広報又は営業上の利益のために行う招待及びこれに類する行為を行うことをいう。以下同じ。)を目的として入場料等を徴収しない、又は1,000円以下の入場料等で入場させる場合の使用料は、2,000円以下の入場料を徴収する場合の使用料の額とする。
- 6 使用者が大ホールを3階客席(第3バルコニー席及び第4バルコニー席を含む。)を除いて使用する場合は、当該使用区分に応じた使用料の額の8割に相当する額を当該使用料の額とする。
- 7 使用時間がこの表に規定する使用時間を超える場合の使用料は、その超える時間が午前9時以前のときは午前、正午から午後1時まで及び午後5時から午後6時までのときは午後、午後10時以後のときは夜間の使用料の金額を時間割計算により算定するものとする。この場合において、使用時間を超える時間に1時間未満の端数がある場合は、30分以上をもって1時間とみなす。
- 8 使用者が大ホール又は小ホールを練習、準備等のために使用する場合は、当該使用区分に応じた基本使用料と使用時間を超えて使用する場合は当該超過する使用時間に係る使用料の額を合計した額の7割に相当する額を当該使用料の額とする。
- 9 この表及び前各項の規定により算定した使用料に10円未満の端数が生じたときは、当該端数金額は切り捨てるものとする。

#### 別表第2 市民ギャラリー使用料

##### (1) ギャラリー使用の場合の使用料

区分	基本使用料 (午前9時から午後7時までの使用)	時間外使用料 (1時間につき)
第1展示室	円 36,250	円 3,620
第2展示室	36,250	3,620
第3展示室	19,960	1,990
第4展示室	9,670	960



第5展示室	6,820	680
-------	-------	-----

備考

- 1 使用料の算定の対象となる使用時間には、使用のための準備及び後片付けに要する時間を含むものとする。ただし、当該施設を引き続き2日以上にわたって使用する場合には、単に展示品等を保管するために使用する当該期間の夜間(午後7時から翌日の午前9時までをいう。)の時間は、含まないものとする。
- 2 使用時間がこの表に規定する使用時間を超える場合の使用料は、午前9時から午後7時までの使用料の金額を時間割計算により算定するものとする。この場合において、使用時間を超える時間に1時間未満の端数がある場合は、30分以上をもって1時間とみなす。
- 3 使用者が入場料又は入場料に類するものを徴収する場合の使用料は、この表に規定する基本使用料及び時間外使用料に5割に相当する額を加算した額とする。
- 4 使用者が営利を目的として使用する場合の使用料は、この表に規定する基本使用料及び時間外使用料に10割に相当する額を加算した額とする。
- 5 この表及び前各項の規定により算定した使用料に10円未満の端数が生じたときは、当該端数金額は切り捨てるものとする。

(2) ギャラリー使用以外の場合の使用料

時間 区分	午前 午前9時から 正午まで	午後 午後1時から 午後5時まで	夜間 午後6時から 午後9時まで	全日 午前9時から 午後9時まで
第1展示室	円 15,980	円 21,300	円 15,980	円 53,260
第2展示室	円 15,980	円 21,300	円 15,980	円 53,260

備考

- 1 使用料の算定の対象となる使用時間には、使用のための準備及び後片付けに要する時間を含むものとする。
- 2 使用時間がこの表に規定する使用時間を超える場合の使用料は、その超える時間が午前9時以前のときは午前、正午から午後1時まで及び午後5時から午後6時までのときは午後、午後9時以後のときは夜間の使用料の金額を時間割計算により算定するものとする。この場合において、使用時間を超える時間に1時間未満の端数がある場合は、30分以上をもって1時間とみなす。
- 3 使用者が営利を目的として使用する場合の使用料は、この表に規定する使用料に10割に相当する額を加算した額とする。
- 4 この表及び前3項の規定により算定した使用料に10円未満の端数が生じたときは、当該端数金額は切り捨てるものとする。

別表第3 その他の使用料

(1) ガレリアその他の施設

区分	単位	使用料
ガレリアその他の施設	1平方メートルにつき1日	50円

備考 ガレリアその他の施設の面積に1平方メートル未満の端数があるときは、1平方メートルとして計算する。

(2) 駐車場

区分	使用料
1台につき30分までごとに	150円
深夜料金 (1台につき午後9時30分から翌日午前9時まで)	1,010円

別表第4 まんが館観覧料

区分	常設展	企画展・特別展
高校生以下の者	無料	市長がその都度定める額
上記以外の18歳以上の者	410円	

備考

- 1 常設展の観覧料は、1人1日の観覧料とし、当日に限り入退館は自由とする。
- 2 高校生とは、高等学校の生徒及び市長がこれに準ずると認めた者をいう。
- 3 20人以上の団体の観覧者に係る観覧料については、1人につきこの表に規定する観覧料の8割に相当する額とする。
- 4 身体障害者手帳の交付を受けている者であって障害の等級が1級又は2級であるもの及び療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者の観覧料は、本人及び当該介護する者1人に限り、並びに65歳以上の者の観覧料は、1人につき、この表に規定する観覧料の5割に相当する額とする。
- 5 この表及び前各項の規定により算定した観覧料に10円未満の端数が生じたときは、当該端数金額は切り捨てるものとする。